

業務紹介
パンフレット
(技術系職員)

独立行政法人 家畜改良センター

「日本の畜産 改良と技術で育てます」

家畜改良センターは、畜産の発展と国民の豊かな食生活に貢献することを目的とした、1本所10牧場1支場からなる全国組織の独立行政法人です。



NLBC

センターの 業務について

「小さなタネから大きなウシまで」

家畜改良センターの業務は多岐にわたります。

■ 家畜の改良増殖の推進

- ・畜産物の需要の変化に応じた優良な種畜・種きん等の生産・供給
- ・遺伝的能力評価の実施
- ・種畜検査の実施
- ・家畜の遺伝資源の保存



宮崎牧場で造成したデュロック種系統豚「ユメサクラエース」



新冠牧場で生産した種雄牛「NLBC パルサバベツジ」

■ 飼料作物種苗の生産・供給と検査

- ・日本の多様な気候に適した飼料作物種子及び種苗の生産・供給
- ・国際的な種子品種証明制度に基づく飼料作物種子の検査・証明



岡崎牧場で作出した「岡崎おうはん」



鳥取牧場で生産した種雄牛「光平栄」

■ 畜産新技術の開発・実用化

- ・有用形質関連遺伝子等の解析
- ・食肉の食味に関する評価手法の開発
- ・繁殖関連技術の開発・実用化
- ・飼養管理関連技術の開発・実用化



指定種苗の発芽率検査



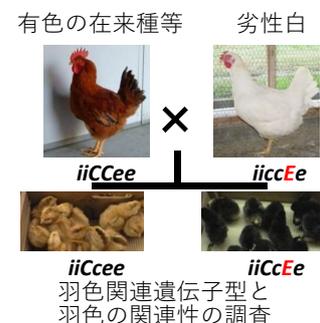
コンバインによる種子の収穫

■ 牛トレーサビリティ業務 ■ 法律に基づく検査

- ・全国の牛のトレーサビリティに必要な個体識別番号や出生異動履歴などの情報の管理、公表
- ・家畜改良増殖法に基づく立入検査
- ・種苗法に基づく指定種苗の集取・検査



耳標に印字された個体識別番号



■ 技術の普及指導 ■ 外部支援

- ・開発された技術の生産現場への普及のための研修会の実施、海外技術協力
- ・国内における家畜伝染性疾病や自然災害発生時等の外部支援・協力



飼料自給率向上のための研修会



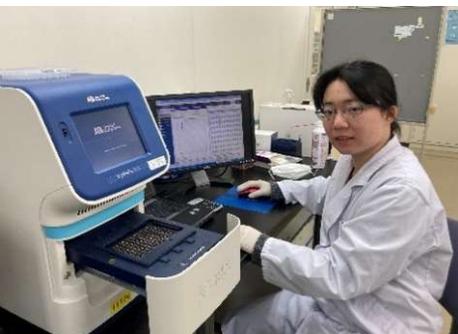
緊急時における粗飼料等支援

先輩からの メッセージ

技術系職員の業務は、家畜の改良・増殖、飼料作物種苗の生産・供給・検査、遺伝的能力評価、牛トレーサビリティ関連業務等となります。

現在活躍している若手職員から、担当している業務内容や、仕事のやりがいなどのメッセージをお届けします。

企画調整部 改良技術課 令和2年度採用



Q1.現在の仕事内容について

豚の繁殖性や産肉性などの、経済形質と関連する遺伝子の解析業務に携わっています。家畜改良センターの豚集団において、数ある遺伝子の中でどの遺伝子のどの塩基配列の違い（多型）が経済形質に影響を及ぼすのかを明らかにし、遺伝子情報を豚の育種改良に利用することを目標としています。業務は細胞からのDNA抽出や多型探索、多型判定、繁殖/産肉データとの関連解析など、多岐にわたります。

Q2.家畜改良センターを選んだ理由

大学では農学を専攻しており、動物好きということもあって畜産関係の仕事に就きたいと考えていました。大学での職場説明会に参加した時、家畜改良センターは牛・豚・鶏だけではなく馬、山羊、めん羊など多様な家畜種が全国各地の牧場におり、数年おきに異動があるため様々な分野に挑戦し経験を積むことができる、ここで働きたいと思いました。

十勝牧場 業務第一課 平成31年度採用



Q1.現在の仕事内容について

黒毛和種の改良増殖業務に取り組んでいます。遺伝的多様性に配慮しつつ産肉能力に優れた雌牛群を整備するとともに、候補種雄牛の作出・供給を行っています。その中でも、私が担当していることは種雄牛候補の飼養管理、精液性状検査です。雄子牛のうち候補種雄牛として選抜するものの選定や、候補種雄牛に実施する産肉能力検定のとりまとめ、候補種雄牛が正常な精液を生産できるかの検査を行っております。

Q2.仕事のやりがいについて

家畜改良センターで作出した黒毛和種の候補種雄牛はAI事業体へ貸付され、後代検定が行われます。その成績によって全国に凍結精液が流通する種雄牛として選抜されます。自分が名号をつけ、選定した候補牛が種雄牛として活躍する姿をみることは、他の職場ではめったにできない貴重な経験であるとともに、そこを目指して働くことはやりがいであると思います。

茨城牧場 業務課 令和2年度採用



Q1.現在の仕事内容について

私は、豚の改良増殖を行っている茨城牧場に配属され、そこで分娩・肥育班に所属しています。授乳母豚、授乳期仔豚の飼養管理が主な仕事です。仔豚は小さくてかわいいですが、母豚の乳質等の悪化や環境管理の失宜により異常を起こすため、手がかかります。しかし、わずかな変化を見落とすとすぐに削瘦や死亡してしまうので、豚の観察が非常に重要となる業務です。

Q2.仕事のやりがいについて

飼養管理が上手くいったかどうか分かるため、仔豚の離乳時にやりがいを感じます。仔豚の離乳時に体重を測るのですが、その時にムチムチと丸く太り、元気である仔豚を見ると、仔豚と母豚の管理や処置がうまくできたのだと実感できます。逆に体重が伸びていない場合や平均を下回っていた場合は、何が原因なのか反省し、対処法を考えます。正解がなく、突き詰めるときりがない業務ですが、だからこそやりがいがある仕事だと思っています。



最新情報・詳細はホームページをご覧ください <http://www.nlbc.go.jp/saiyo/>

[見学申込み・お問合せ先]

〒961-8511

福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原1番地

独立行政法人 家畜改良センター 総務部人事課 TEL：0248-25-2759（直通）